



高志台

学園だより

高志台（こうしだい）

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“こしのくに”（越の国・古志の国・高志の国）と呼ばれていました。
学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台（こうしだい）」と命名しました。

CONTENTS

卒業生・修了生に贈る言葉	02-03
さよなら高志台 思い出のアルバム	04
さよなら高志台（卒業生）	05-09
さよなら高志台（専攻科修了生）	10-11
さよなら高志台（留学生）	12-14
さよなら高志台（退職する教職員）	15
1年を振り返って	16
卒業生・修了生表彰・進路状況	17



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

卒業生・修了生に贈る言葉

贈る詩

校長 小林 幸夫

本科卒業生、専攻科修了生の皆さん、卒業ならびに修了おめでとうございます。

保護者の皆様のお慶びもひとしおのことと存じます。教職員一同心からお祝い申し上げます。

卒業生、修了生の皆さんは、新型コロナウイルスの影響で、思うような学校生活が送れなかったかもしれません。遠隔授業も何回か経験することになりました。それでも皆さんは、入学時に比較して心身ともにたくましく成長されました。厳しいカリキュラムをこなし、身につけた知識・技術はこれからの人生において大きく役に立つことでありましょう。

今、日本ではイノベーションを引き起こせる人材が求められています。皆さんは、この長岡高専で、イノベーションを引き起こすための基礎を学び、卒業研究や特別研究で、新たな知見を得るための考え方を修得したと思います。是非これらの力を実社会で思う存分発揮して下さい。

私たちの社会は、これまで経験のないほどの大きな時代の変化の中にあります。特に、情報技術の急激な進歩は目を見張るものがあります。生成AIに代表される高度な情報技術が私たちの生活の隅々まで浸透し、これまでにない新たな価値観を生み出し、新しい社会制度や生活様式が築かれようとしています。我々が経験する変化は、これまでの延長線上にはない劇的な変化です。その中で人間らしく豊かに生きていくために必要な力は、これまで誰も見たことがない特殊な能力では決してありません。むしろ、どのような時代を迎えるとしても、知識・技能、思考力・判断力をベースとした、創造的能力や人間性が問われることとなります。さらに、時代の変化に対応し、自分自身も変化するという柔軟な思考も大切です。

このような厳しい社会環境に長岡高専を旅立つ、卒業生及び修了生に、臚（なはむけ）として、「シクラメンのか

ほり」「愛燦燦」「さらば青春」という曲が代表的なシンガーソングライターの小椋佳さんの最近の曲の詩を贈りたいと思います。

「置手紙」 小椋佳

未だ蒼く若い人への 余計なお世話か置手紙
生きてくだけでも難しい それが君らの時代だよ
まずは処世訓 大好きになれる何かを見つけなさい
更にはその好きなことに 特に得意になりなさい
そうならないことには 負け組になる
これから時代は 9割がルーザー（負け組）
そう覚悟を決めて励み 好きで得手なものを持ちなさい

未だ蒼く若い人へと 更なる願いを伝えたい
逆説的だが臆病が とるべき基本の姿勢だよ
君らの未来に 潜み待ち受ける汚れや危険らを
鋭く予感しそれらの 排除と事前の準備に努め
迎え撃つ力 逞しくあれ
臆病たること 恥じることはない
その恐れ不安疑念こそが 次代創る源だ

誇らかに 好きで得手を獲得し
人生実りあるよう 豊かに過ごそう
臆病抱いて 恐れに勇気を添えて
身支度拔かりなく 悔いなく生きよう
悔いなく生きよう

自分の得意なことをさらに伸ばし、危機を察知し、悔いなく生きてください。

最後に、人生で最も多感な時期に、長岡高専で共に勉強し、苦楽を共にした友は、一生の宝です。これからも連絡を取り合い、互いに協力し合い励まし合って、さらなる友情を培われることを期待します。たまには連れ合って元気な顔を見せに学校を訪ねてきて下さい。

本日は、誠におめでとうございます。



すべてに感謝

後援会長 大野 盛郷

本科卒業生並びに専攻科修了生の皆様におかれましては、卒業・修了大変おめでとうございます。また、この日を待ち望んだ保護者の皆様には心よりお祝い申し上げますと共に、学校関係者の皆様からの学生に対する指導と多大なるご支援を賜り長岡工業高等専門学校後援会を代表して心より御礼を申し上げます。

皆さんは、数々の創意工夫を凝らした長岡高専の特色ある教育を受け、経験や学び、そして失敗や挫折、別れを体感されながらも“自らの力で、自らの未来を切り開く”為の人間力と思考力を身に付けたのではないのでしょうか？加えて、皆さんに共通することがあることに、私はこの7年の間に痛感させられました。それは“感謝を忘れない心”を皆さんが持ち合わせる事ではないかと思うのです。例えば、大勢の面前でプレゼンを行いその質問を受けた時、廊下ですれ違い挨拶する時、道が分からず教えていただいた時、その何気ない時も皆さんからは感謝する気持ちがひしひしと伝わってきました。日本をはじめ世界中で現在、数々の技術開発とその実装から定着化が進んでいます。他方では、技術が市場を作りそこから製品が定着に導かれるなど、さまざまな形で加速度的に進化しています。それらを生かすも殺すも最後は、AIではなくヒューマンが司ると私は考えています。そして、そのヒューマンには学力や記憶力

だけではない人間力に加え、感謝する心+感謝に変える事のできる心を持ち合わせると思うのです。その心は、一朝一夕では築けないものです。年月を重ねそれらを持ち合わせる事ができた皆さんは必ずや、この先で強い武器を持っている事に気づき前進していくことでしょう。これから皆さんには多岐に渡る進路で多様性に満ちた人生が待っていると思います。そんな時に感謝の気持ちを忘れず色々なことにチャレンジしてください。そして時には傷つき、喜び、涙し、心から笑えた時にこの高志台の学び舎を訪れてみてはいかがでしょうか？校舎もグラウンドもそして恩師の皆さんも変わらず皆さんを静かに迎え入れてくれるのだと思います。不確実性の高いこの世の中で、皆さんの培った学びや経験は数々の課題を解決し実り多き人生に導いていくと、私は強く確信しています。長岡高専で過ごした日々で、知らないうちに自分自身の心にたくさんの引き出しが出来たと思います。どうかその引き出しを思う存分使って世界中に羽ばたいてください。

皆さんの人生を心から応援し大きなエールを送りたいします。

おめでとうございます。

そして、皆さんとの出会いに感謝いたします。

未来にはばたく 皆さんに期待する

同窓会長 古田島 智裕

卒業生、修了生の皆さん、卒業・修了おめでとう。長きにわたり、学生達を支え導いてくださった先生方や保護者の皆さん、本当にあ

りがとうございました。感謝申し上げます。

1月12日、森政弘東京科学大学名誉教授がご逝去されました。先生は1988年に始まった「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト（高専ロボコン）」の創始者だそうです。多くの学生に、大きな夢とあきらめない気持ちを下さいました。ご冥福をお祈りいたします。

最近、高専の話題に触れる機会が多くあります。起業した長岡高専のOBの紹介もあり、全国的にも高く評価されています。これも、ロボコンのおかげでしょうか。

昨年11月には長岡市、長岡高専、経営コンサルのイードアが始めた「地域DXエバンジェリスト創出プログラム（Ent-X）」の紹介を目にすることがありました。この取り組みは、一般財団法人 三菱みらい育成財団助成事業で、高専事業の採択は全国初だそうです。

第1回は、プロバスケットボールチーム新潟アルビレツ

クスBBが課題を提示する企業に決まり、「ファン増加に向けたデータ活用」「自動応援コンテンツ」など3つの課題解決案を全国の高専生に募りました。

全国4つの高専から6チームの応募があり、審査会を経て一関高専、長岡高専、和歌山高専の3チームが採択され、10月以降本格的にアプリ開発に取り組み、2025年3月に成果報告があるとのことでした。

学園だよりが発行される頃には、報告がなされていることでしょう。

また、第9回廃炉創造ロボコン（主催：日本原子力研究開発機構、廃止措置人材育成高専等連携協議会）が、昨年12月21日に福島県楡葉町で開催されました。

長岡高専は参加しませんでした。全国15校17チームが参加し、配管を通り抜け急な階段を移動するコースと、小口径配管を通過しグレーチング（金網）を抜けるコースから選択し、地面に置かれた対象物を回収して戻るロボットのアイデア・技術対決がありました。小山高専のチームが、参加チームで唯一課題をクリアしたそうです。

このように、学生の力試しの機会がたくさんあるおかげで、在学生・卒業生が活躍している現在があると思います。

我が長岡高専は、今後も世界で活躍する人材を輩出することでしょう。皆さんの今後の活躍を期待しています。そして、応援しています。

ご安全に！

さよなら高志台 思い出のアルバム

2020-2024



2020.4.6 入学ガイダンス

新型コロナウイルスの急激な感染拡大を受け、入学式は中止となり、代わりに入学ガイダンスが実施されました。授業開始も5月からになるなど大きな影響がありました。



2020.6 1学年ガイダンス②



2021.11.5~11.7 学園祭



2022.9.27 工場見学



2023.9.25~9.28 見学旅行②



2024.5.15 交子祭

2020

- 1月 英国がEU離脱
- 4月 新型コロナで国内緊急事態宣言、政府が布マスク配布、国民に一律10万円
- 6月 黒人差別の抗議、世界に拡大
- 7月 「Go To トラベル」キャンペーン開始
- 8月 甲子園高校野球交流試合
- 9月 菅内閣が発足
- 12月 はやぶさ2のカプセル回収

2021

- 1月 アメリカ大統領にバイデン氏が就任
1都3県に緊急事態宣言
(新型コロナウイルス感染症)
- 2月 新型コロナワクチン接種開始
- 4月 原発処理水、海洋放出を決定
- 7月 東京オリンピック開幕
- 8月 東京パラリンピック開幕、新型コロナ変異株(「デルタ株」)が猛威
- 9月 自民党総裁に岸田氏、首相に就任
- 10月 真鍋淑郎氏にノーベル物理学賞
- 11月 大谷翔平、満票でメジャーMVPに

2022

- 1月 新型コロナウイルス感染症オミクロン株が猛威
- 2月 ロシアがウクライナ侵攻
北京五輪、日本勢のメダル冬季最多
- 4月 知床観光船沈没事故
- 7月 安倍元首相が撃たれ死亡、9月に国葬
- 10月 一時1ドル150円台 32年ぶりの円安水準に
ヤクルト村上が56号本塁打、三冠王
- 11月 サッカー・カタールW杯が開幕
日本はドイツ・スペインに逆転勝利で決勝Tに1位で進出

2023

- 2月 トルコ・シリアで大地震
- 3月 WBC侍ジャパン、14年ぶり世界一
- 4月 フィンランドがNATO正式加盟
- 5月 新型コロナウイルス感染症「5類」移行
生成AI急速に普及し、政府が「AI戦略会議」で政策の方向性の議論を開始
広島でG7サミット開催
- 8月 福島第1原発の処理水、海洋放出開始
ハワイ州マウイ島で大規模な山火事
- 9月 記録的猛暑、気象庁の観測史上、夏の平均気温が最高を更新
- 10月 藤井聡太竜王史上初の全八冠制覇
ハマスがイスラエルに大規模攻撃、イスラエルが報復

2024

- 12月 大谷翔平2度目のMVP、10年7億ドルの大型契約でドジャース移籍
- 1月 石川・能登で震度7、津波被害
日航機と海保機が羽田で衝突、炎上
- 2月 JAXA、H3ロケット打ち上げ成功
スウェーデンのNATO加盟決定、32か国目
- 7月 20年ぶり、新紙幣流通開始
- 8月 パリ五輪で日本は海外最多メダル45個
- 10月 日本被団協、ノーベル平和賞を受賞
- 11月 米大統領選、4年ぶりトランプ氏が勝利
- 12月 韓国大統領「非常戒厳」を宣言、韓国国会は尹大統領の弾劾案可決



2020.6 1学年ガイダンス①



2020.10.1 学年大縄跳対決



2022.1.12~1.14 スキー合宿研修



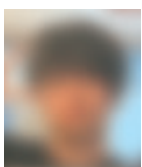
2023.9.25~9.28 見学旅行①



2023.11.3~11.4 学園祭



2025.1.29~1.30 卒業研究発表会

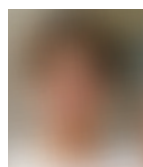


青春青春青春 西巻 達也

長岡高専の入学受験に合格し、春を楽しみに待っていましたが、コロナの影響で入学が遅れたことを今でも覚えています。学科一年研修がなくなってしまう友達と大泣きした夜は間違いなく青春でした。

私は1年生のときに入寮し、当時の厳しかった先輩の指導に怯えながら生活したのが忘れられません。今考えればその指導は愛でした。冷蔵庫に入れておいたシュークリームがなぜか失くなったこと、洗濯したはずの靴下がなぜか片方失くなったこと、点呼後外出がなぜか警備員さんにバレたこと、全て大切な思い出です。寮飯を食べ逃したからといってすぐラーメンを食べに行ってしまう癖は最後まで治りませんでした。月に15杯食べて10kg太ったなんて誰にも言えません...

この5年間で定期テストやレポートに非常に苦しめられましたが、自分の力になったと思います。5年間指導してくださった先生方、共に過ごしたクラスメイトに感謝を申し上げます。文句ばかり言ってたけど何気に楽しかったです。



“普通”ってなに 高橋 陸

高専5年間で江田先生に数えきれないほど言われました。初めは“普通”は普通だろ！って思っていたのですが、今になって考えると“普通”という言葉はとても無責任だなあとと思います。

入学当初、新型コロナウイルスの影響で“普通”とっていなかったマスクの着用が“普通”になりました。また勉強を毎日やる人、私のようにテスト前日に一夜漬けする人など人により“普通”の解釈は異なります。これは高専ならではのかもしれませんが... 学園祭実行委員長をやっていた時にも「普通にやっという」と指示を出し、想像とは違うものができて、こんなこともできないのかと思うときがありました。しかしこれは自分の“普通”を押し付けて具体的に指示をせず、何かあったときのために責任逃れをしていただけだと気が付きました。自由度が高く学生個人の判断が重要になる高専生活だからこそ気が付くことができたと思います。

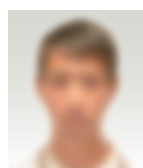
この環境下での生活を支えてくださった友達、教職員、先輩、後輩のみなさん、そして江田先生がだいすきです。本当にありがとうございました。そして専攻科であと2年お世話になります。



初めてのあしたへとつづく 3～5学年クラス担任 工藤 慈

苦難に満ちた長く短い高専生活が過ぎ、ついに卒業の日。心から、おめでとうございます。入学式がなく、Teamsの使い方を説明するために集まってもらった製図室が皆さんに初めて会った場所だったことを覚えていますか？正直、担任としてもっとこうすればよかったと思うことは数え切れませんが、皆さんの協力があって、楽しさのほうに勝る3年間を過ごせました。うまく動かなかった総合製作も、見学旅行での発熱対応も、出席率の伸び悩んだクラスマッチも、思い出の1ページです。

これからどんな進路を選んでも、きっと何度も壁に突きあたることがあると思います。それを乗り越えるために、高専での経験を生かしてください。壁を避けることだって時には必要ですし、力を蓄えること、少し戻ることも選択肢のひとつです。最終的に進めればいいのです。「いまだ！スタンバイ！オーケー！」となったら飛び上がってみましょう。飛び越えてゆきましょう。長岡高専で学んだこと以上の力をこれからもつけてくれることを期待しています。最後にもう一度、卒業おめでとう！



卒業前に最後の検定試験 ～長岡高専卒業検定2024～ 2学年クラス担任 江田 茂行

5年間学んだ長岡高専に関する「検定試験」(○×式)を出題。①：長岡高専学校長名を漢字で書ける。②：校歌1番を歌詞なしで歌える。③：クラス担任の名前を漢字で書ける。④：専門学科の先生の名前をすべて漢字で書ける。⑤：卒業研究課題について小学生にもわかりやすく説明できる。⑥：長岡高専で学んだことを瞬時に思い出せる。⑦：何でも相談できる親友が3人以上できた。⑧：お世話になった教職員へ卒業挨拶は済ませた。⑨：高専でやるべきことを後輩に伝えることができる。⑩：保護者やお世話になった方々(中学校の担任・先生など)へ報告と感謝の気持ちを伝えた。どうでしたか。かなり難しかったと思います。全問正解の人は、胸を張って卒業可能なので、「卒業おめでとう」の言葉を贈ります。

すべて正解できなかった人は、卒業するまで(卒業式：3月19日)努力してください。



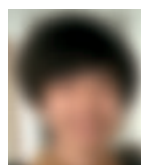


時間
金子 千桜

5年と聞いて皆さんはどのように思いますか？

私は入学当時、5年間は長いなと思っていました。実際、普通高校に入学すれば3年間で1度卒業があり、進路について考える期間があるので区切りがない高専は長く感じる人も多いのかもしれません。ですが、この5年間を振り返ってみて、今ではもう5年も経ってしまったことに驚きを隠せません。今、私たちが居る環境はあつという間に変わってってしまうことを実感させられました。

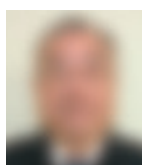
高専での生活では日々の授業、学校行事や課外活動などを通してたくさんの人と出会い、様々な経験や思い出を貰いました。この5年間で得たものは、今後何にも変えられない大切なものとなると思います。



人との繋がりを大切に
小口 貴士

かなり語弊がある言い方ですが、入学当初、僕には友達がいませんでした。中学校まで幼馴染と10年以上共に過ごしてきた僕にとって、初対面の人しかいない環境で過ごすのはとても大変だったことを今でも覚えています。しかし、そんな僕に話しかけてくれた人、わからないことを教えてくれた人、いろんな人達のおかげで、今では友達がたくさん増えました。また、演劇や寮生活などを通して上下の繋がりも作ることができ、入学当初からは考えられないくらい楽しい日々を送ることができました。

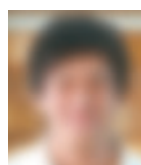
これから卒業して旅立つ友達、先に旅立っていった先輩方に心からの感謝を送ります。本当にありがとうございました。そして、後輩の皆さんには伝えたいことがあります。いつか別れが来ってしまうとしても、どうか、周りの人との繋がりを大切に生きてください。そして、来年から僕は晴れて専攻科生となるので、旅立つ予定の2年後まで、またよろしくお願いします。



夢に向かってはばたけ
3～5学年クラス担任 樺澤 辰也

卒業おめでとうございます。入学時にはコロナ禍で入学式も行われず、その後しばらく登校も控える状況でした。そして、学校にもなれないなかでの遠隔授業が行われるなど大変な状況だったと思います。ですがそこから授業や実験実習、クラスでの行事やクラブ活動、そして5年生での卒業研究などを通して、みなさんは大きく成長したことを思います。

皆さんの進路は就職や進学と別々となりますが、皆さん自身が選択した道ですので、高専で身につけた知識や経験を活かしてそれぞれの道でがんばってください。学校で学んだことはすぐには役立たないかもしれませんが、長い人生の中で壁に突き当たったときやいろいろな課題を解決するときに、そういえばこんなことを習ったなと思い出して、必ず役立つ時がくると思います。そして、5年間をともに過ごした仲間たちを大切にしてください。最後に、皆さんそれぞれの夢を持ってはばたいていってください。



卒業おめでとう、そしてありがとう
2学年クラス担任 桐生 拓

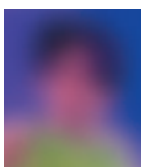
卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。皆さんにとって私という担任がどのように映っていたかわかりませんが、私にとって皆さんは、自分がもうおじさんであることを自覚させる存在でした。

そんな皆さんが学校生活において勉強だけでなく、多様な分野で成長、活躍している姿に私の方が日々励まされていました。そんな皆さんがあつという間に今日を迎え、いよいよ卒業という現実におじさんは喜びと寂しさを感じています。

最後に、私が好きな小説で校長先生が卒業式で述べるセリフを紹介します。「学生時代を思い出して、懐かしがるのは構わないが、あの時は良かったな、オアシスだったな、と逃げるようなことは絶対に考えるな。そういう人生を送るなよ」

これから社会という砂漠に旅立つ皆さんが、いつまでもはつらつと元気に活躍することをおじさんはお祈りしています。

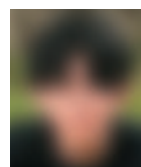




まんぷく
南口 誠之助

コロナウイルスの影響で、オンラインで始まった高専での生活。新しい環境への不安を抱えたスタートでしたが、気が付けば卒業を迎えることになっていました。

1年生では、入学からコロナに振り回され、新しい環境に慣れるにはとても時間がかかりました。2年生では、スキー合宿がありました。大雪で滑るのは大変でしたが、ホテルで友達と仲を深めることができ、とても楽しい3日間でした。3年生では、寮生活を経験しました。身の回りのことをすべて自分で行うことの大変さを経験し、両親のありがたさを改めて知りました。4年生では、修学旅行がありました。計画を立てるときからワクワクが止まらず、今でも鮮明に思い出せる最高の思い出になりました。そして、5年生。受験や研究など、5年間で一番大変な1年でした。様々な困難にぶつかりながらも、かけがえのない高専生活でした。一緒に楽しい思い出を作ってくれた仲間、ここまで支えてくださった先生方、両親、関わってくださった方々、本当にありがとうございました。



最高の出会い
布川 康太

長岡高専で過ごした5年間は長いようで短く、まだあまり卒業の実感が湧きません。ですが、仲間たちと過ごした思い出はたくさんあります。

思い返すと私たちの高専生活は、入学式中止というまさかの幕開けでした。低学年の頃はコロナウイルスの影響で普通の生活が送れず、不安な日々を過ごしていました。ですが、コロナが落ち着きクラスメイトと関わる機会が増え、最高の仲間たちと出会うことができました。そのおかげで、私の学校生活はとても充実したものになりました。

中でも一番印象に残っているのは学園祭です。仲間たちと試行錯誤し、時にはぶつかり合いながらも最終的には最高の企画を作り上げることができました。楽しいこともつらいことも、すべて仲間と乗り越えられたのはとても大きな財産です。そのおかげで、私自身も大きく成長できたと感じています。

最後になりますが、この5年間私を支えてくれた友達、家族、先生方、そして先輩や後輩すべての方々に心から感謝しています。本当にありがとうございました！

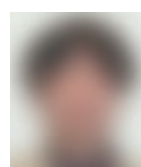


超えて行け 高志台を！
3～5学年クラス担任 梅田 幹雄

卒業おめでとうございます。毎日高志台の坂を上り続け、遂にこの日が来ましたね。今日は、いろんなことを成し遂げてきた自分を褒めてあげましょう。そしてここまで育ててくれた方々や、いろいろとお世話になった方々に感謝の意を伝えましょう。あなたのその言葉で、周りの人たちはあなたが大きく成長したことを確信し、あなた以上に喜んでくれるはずですよ。

皆さんは今、この台地を征服したところですが、次は少し険しい山に挑むことになると思います。人間関係や勉強そして仕事などから来るプレッシャーやストレスがより強くなるかもしれません。しかしそれに対処しようと努力することで人間的な成長に繋がることになると思います。そこから逃げるのではなく、元気を与えてくれるもの、励みとなるものを見出し、それに立ち向かう勇気と行動力を持って前へ進んでいきましょう。

この3年間、私は貴方達から若いエネルギーをいっぱいもらいました。ありがとうございます。これからも応援しています。



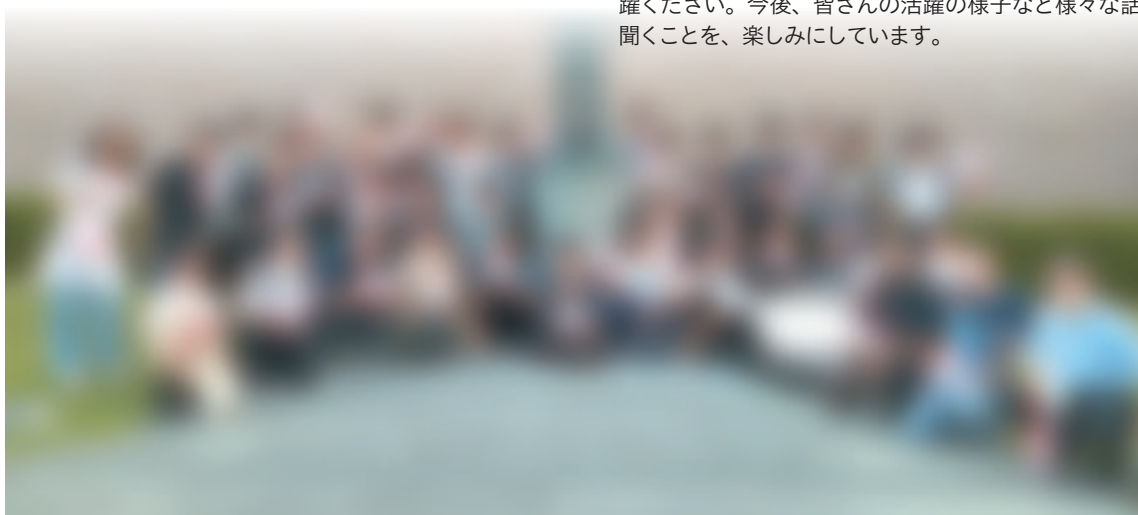
ご卒業おめでとうございます
2学年クラス担任 佐藤 秀一

皆さん、ご卒業おめでとうございます。(この原稿を書いている時点で、まだ私とともに物理学の醍醐味を味わっている諸君が若干いることがちょっと気になりますが…)

皆さんの卒業と同時に、奇しくもこの春私も区切りを迎えます。2年時のクラス担任を担当した後、4・5年時には皆さんの物理学の授業も担当しました。また授業に加え、スキー合宿や見学旅行にも同行させてもらうなど、私にとって印象に残るクラスとなりました。

さて、皆さんは中学校卒業後の進路として長岡高専を選び、社会に出るまでの大事な時期を高専で過ごすという決断をされたわけですが、高専での学校生活はいかがでしたでしょうか？

学業にしても、課外活動にしても、同世代の一般の高校に進んだ人たちと違った体験ができたことは確かだと思います。中には大変貴重な体験もあり、結果として、いずれの皆さんも同世代の中ではユニークな存在になったのではないかと思います。今後、高専を出てそれぞれの道に進まれるわけですが、どんな分野に進んでもそのユニークさを活かす場面がきっとあると思います。高専での体験を活かしつつ、存分にご活躍ください。今後、皆さんの活躍の様子など様々な話を伝え聞くことを、楽しみにしています。



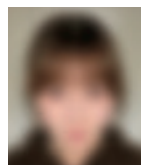


やらぬ後悔よりやる後悔 阿部 琉星

私は長岡高専での5年間を通じて、多くのことを学びました。それは勉強だけでなく、周りと協力して物事に取り組む力や、困難な課題に挑戦する力にも関わっています。高専ではグループワークや研究活動を通じて、周囲との協力を必要とする場面が多くありました。これにより、グループ内で自分が何をすべきか、何ができるのかを順序立てて考える力や、周りを頼る力を養うことができました。

さらに、私は1年生時から学生会に所属し、学生会行事の企画や準備を仲間と共に進める中で、協力して課題に挑戦する楽しさを知ることができました。これらの経験は、現在の私の日常生活や研究活動において、困難に直面したときに立ち直る力となっており、長岡高専での経験や思い出は、私にとってかけがえのないものだと思っています。

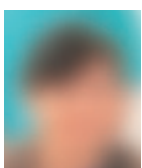
最後に、長岡高専は学生に様々な挑戦の機会を与えてくれます。「やらぬ後悔よりやる後悔」という言葉がありますが、与えられたチャンスを活かして、多くのことに挑戦してほしいと思います。皆さんに素晴らしい学びがあることを心から願っています。



高専で広がった仲間と世界 高橋 叶夢

高専に入って本当によかった！これが、卒業を迎える今の私の1番大きな気持ちです。心の底からそう思えるのは、ここで得た人との繋がりがあるからです。クラスには、勉強にも遊びにも全力になれる、優しく素敵で尊敬できる仲間がたくさんいました。そんな友達と語り合ったこと、大爆笑したこと、お客さんを泣かせてしまうほど本気のお化け屋敷を作り上げたこと、どれもこれも鮮明に覚えています。また海外に行く機会に恵まれ、タイやフィンランドなど文化の違う国で過ごした刺激的な日々や、そこで出会えた世界中の友達も私の宝物です。苦勞したこと、頑張ったことも含め、振り返ればきらきらした思い出ばかりの学校生活でした。高専で得た人との繋がりを大切に、それぞれの道で頑張りがら、集まったときにはまた大爆笑できることを今から楽しみにしています。

お世話になった先生方、大好きなみんな、とびっきり楽しい大満足な5年間をありがとうございました。

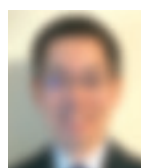


いつかまた会いましょう 3～5学年クラス担任 河本 絵美

皆さん、卒業おめでとうございます。高専での5年間の生活はいかがでしたか？私とはいうと、担任を終える今、ホッとした気持ちでいっぱいです！

皆さんとの出会いは1年生の後期、学生実験を担当しました。幸いなことに、提出物を期日内に出してくれる、優秀な学年でした。2年生の頃はお化け屋敷を頑張っていましたね。3年生は鈴木先生が担任で、とっても頼りになったことでしょう。4年生になり、担任として再び出会いました。沖縄のマリンブルーの空と海、私はその思い出に浸る間もなく、個人面談、進路ガイダンス、教室の清掃、欠席の諸注意など…皆さんの生活に喝（カツ）！をいれました。そして進路選択の5年生になり、ようやく向き合って話せるようになった気がします。悩みを経て、自分の進みたい道や興味のあることを話してくれた時が担任として最もうれしい瞬間でした。

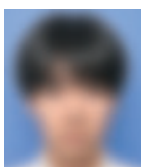
今は、まだ自分の道を突き進む時期でしょう。時がたち、自分の人生を振り返ることがあれば、高専に顔を出して近況を報告してほしいなあと思っています。いつでも応援しています。



卒業を祝して 2学年クラス担任 小川 秀

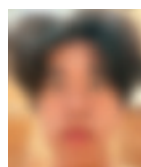
ご卒業おめでとうございます。クラス担任として初めて皆さんに接した際の第一印象は、優しい性格の男子、闊達で個性的な女子が目立ち、学業意欲が高いというものでした。その後は実際に学習面で切磋琢磨する姿や学園祭クラス企画お化け屋敷の運営の様子等から予想外の潜在能力と多様な個性を持つ集団であることに圧倒されました。近頃は落ち着いた面持ちで実験や研究発表をするまでになりましたね。この間、皆さんは数々の挑戦とともに失敗・苦難などをも経験し、今日の卒業を迎えたはずで。そして自分一人ではなく、出会った周囲の仲間との関係性の中で自らの存在が在ったことも実感しているのではないのでしょうか。あらためて周囲に感謝し、晴れやかに新たな一歩を踏み出してください。次のステージでも自らの経験という強みに加え、人との出会いによって自分らしさが発揮されるはずで。ぜひ皆さんにはこれまで以上に自らはもちろん、周りの人を大切にしながら人生を謳歌して欲しいと願っています。





5年間お世話になりました 小玉 城

一瞬の5年間でした。1年生の頃の僕は何か大きな目標を持ってこの長岡高専に入学した気がしますが、今ではその目標も記憶の遥か彼方へ行ってしまいました。ですが僕はこの5年間が最高であったと胸を張って言えます。とてつもない橋梁の製図、提出したと思えばまたすぐに襲いかかってくるレポート、難しすぎる物理。どれもこれも自分にとって厳しいものでしたが、それを乗り越えることができたのは友達存在です。課題以外でも自分自身が悩んでいる時や疲れているときはいつでも友達が助けてくれました。私がこの5年間で得られた一番大きなものはここにありと思います。皆様本当に感謝しています。このほかにも言いたいことはたくさんありますがここでは割愛させていただきます。最後に先生方に謝らなければいけないことがあります。今まで多くの遅刻や失礼な態度をとってしまい、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。これからの進学先では無遅刻で真面目な学生生活を送ることを誓います。5年間大変お世話になりました。



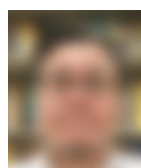
最上級の感謝を 西川 天馬

まず、環境都市工学科のみなさん5年間本当にありがとうございました。こんなに楽しい5年間を過ごせるとは思いませんでした。かけがえのない5年間です。この文章を書いているのは1月なのですが、たまたま、この5年間の思い出を振り返るだけで涙が止まりません。スキー合宿、研修旅行、文化祭、球技大会、昼休みのサッカーどれもこれも最高の思い出です。そして、サッカー部の皆さんにも感謝しかありません。北信越の高専大会で優勝できたこと、全国高専大会で戦えたことは最高の思い出です。また、最高の先輩、最高の後輩、何よりも同学年の谷江とサッカーをできたこと人生の宝物です。高専生活でお世話になった先生方ありがとうございました。先生方のおかげで充実した高専生活を送れました。最後に、この高専の仲間たちとの思い出は楽しいことも辛いことも全てが最高の思い出です。みんな愛してくれてありがとう。そして僕もみんなを愛しています。また飲みにいきましょう。(朝まで)



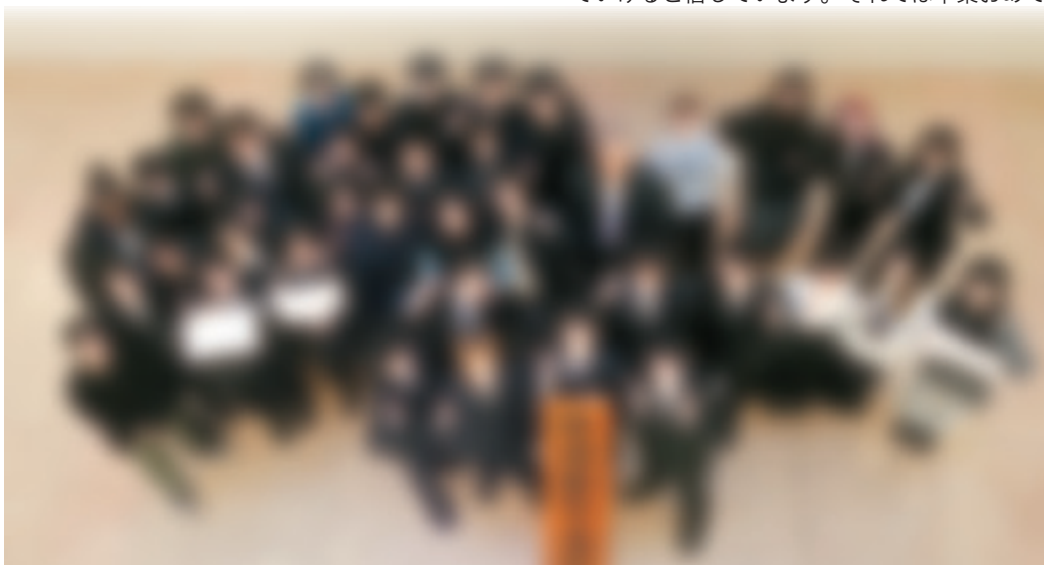
おめでとう(^▽^)/ 3～5学年クラス担任 田中 一浩

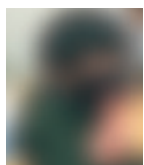
3年前皆さんの担任となった。「皆さんのため何ができるか」を考え、「同じ目線で向き合おう」を心掛けた。振り返ると「気持ちだけ空回りした」「頭も体も俊敏さに欠けた」と反省しきりだ。皆さんを満足されられなかったかもしれない。さらに皆さんはこのわずかな間で私の「目線」が届かない程成長した。そんな「我ままで」「フットワークの重い」私ですが、未永く「ご指導」くださいね。これからもよろしく、そして卒業おめでとう(^ ▽ ^)/



変化に富んだ5年間と、その先へ 2学年クラス担任 田原 喜宏

皆さんが入学した2020年はCOVID-19感染拡大に伴い、最初の一ヶ月程は休校、学校が始まっても遠隔授業といった困難に見舞われ始めました。2年生になった皆さんの担任を務めることになりました。顔を合わせるときはいつもマスク越しで、実は顔と名前を覚えるのに苦労していました。それでも色々な授業を通じて皆さんの色々な一面を知る機会に恵まれ、楽しい担任生活を過ごすことができました。その中でも、スキー合宿研修では、コロナの感染や大きな怪我もなく疲れつつも良い表情でホテルに戻ってくる皆さんを見て実施できて本当に良かったと思ったのを覚えています。あのとき、よく解らないノリで買った(あるいは買わされた?) キリンの帽子は今でも筆筒の隅に大事に放り込んでいます(笑)結果的には、皆さんが長岡高専での最後に担任したクラスになり、今更ながら感慨深いものがあります。これからの人生に於いても様々な困難に出会うと思いますが、皆さんが高専で学んだ知識と経験で以って乗り越えていけると信じています。それでは卒業おめでとう。





今を楽しもう

電子機械システム工学専攻（機械工学科出身）

伊藤 恵太

僕たちの世代は、不運の連続だったと言わざるを得ない。スキー合宿では雪がなく、楽しみにしていた見学旅行はコロナの影響で中止。授業はオンラインになり、画面越しの学校生活を強いられた。専攻科2年の夏には砥粒工学会で発表をしたものの、開催地は地元・アオーレ長岡。他の場所なら観光もできただろうに、日帰りの学会は味気なかった。しかし、不運な出来事が続いた中でも、僕たちはその中で楽しみを見つけていた。雪のないスキー合宿では、みんなで深夜3時過ぎまでボードゲームに熱中した。オンライン授業が終わると、課題を片付け、マイクラに没頭した。学会発表の後は、カラオケで全力ではしゃぎ、ただの日帰りを最高の思い出に変えた。不運続きでも、僕たちは自分たちなりの楽しみ方を編み出してきた。

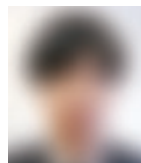
本科5年間、専攻科2年間は長いと思っていたが、振り返るとあっという間だった。辛いことや理不尽なこともあったけれど、結果的には楽しいことが多かった。それぞれが自分なりの楽しみ方を見つけ、7年間の学生生活を全力で楽しんできたと思う。

最後の学生生活だからこそ、自由を謳歌し、今を楽しんでほしい。



中で倒れたいくなるほど忙しい日々でしたが、大切な友人や後輩、そして学科関係なく多くの尊敬する先生方に支えられながらここまでこられたなと思います。私が歩んできた人生にいてくださりありがとうございます。そして、その人生の起点となった高専を設立してくださった方々もありがとうございます。もし高専に大学院があったら入学したいくらい素敵な学校でした！

最後になりますが、お世話になった方々にこれから先も明るく幸せな未来が待っていることを願っています。人生の節目が来たら連絡ください！どこからでも駆けつけます!!

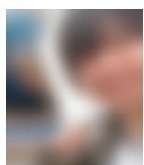
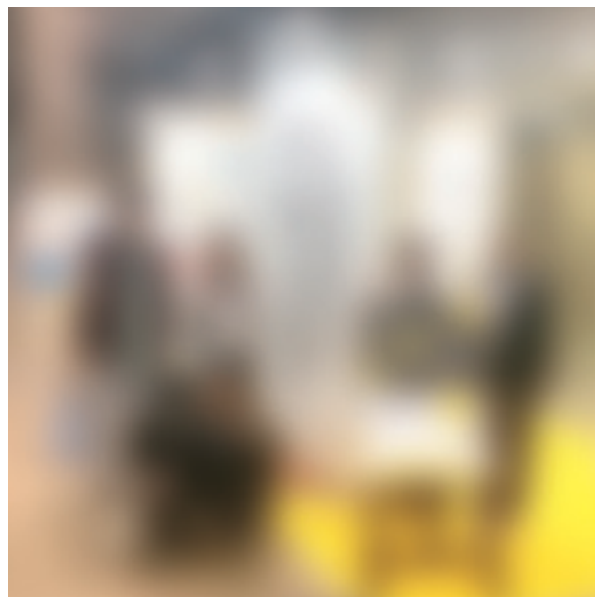


好き放題の7年間

電子機械システム工学専攻（電子制御工学科出身）

田上 雄也

私が高専を選んだ理由は、ロボコンがしたかったからで、制御科を選んだのは一番倍率が高く、入ったら自慢できるなと思ったからでした。でもこの選択は間違っていないと思います。空き時間にキャッチボールできる



さよなら高志台

電子機械システム工学専攻（電気電子システム工学科出身）

入倉 愛梨

卒業式泣くと思う？

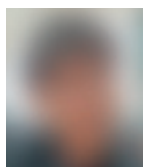
この7年を振り返ると、泣くでは済ませられない程の宝物のような思い出がたくさんありました。そんな思い出の日々は、本当に充実していて、毎日が新しい挑戦の連続でした。

特に専攻科に入ってから、長岡技大との連携教育プログラムや日々のプレラボ活動など、高専の教育システムを網羅する勢いで生活を送っていました。そのおかげで、途

ような友人に出会え、なにより高専ならではの経験を山ほど積めました。

高専は自分から行動すれば、様々なチャンスがある所だと思っています。低学年から研究ができるプレラボなど、一般の学校ではできない体験が、高専ではやろうと思えばできるからです。自分自身、ロボ部と軽音楽部の兼部をしたり、専攻科に入ってからプレラボに参加してみたりといった貴重な経験ができました。特に専攻科の2年間はとても濃密でした。研究活動はもちろんの事、学会発表で岡山に行ったり、2カ月間会社で働かせて貰ったり、運動しなきゃヤバイと思ってバドミントンを始めてみたり、プレラボでビックサイトに行ったりと、忙しいけど楽しく成長できた日々だったと思います。

好き放題した結果、能力だけでなく、人としても成長できた7年間だと感じています。私は小学校よりも長く居たこの学校が大好きです。関わって下さった先生方や友人に感謝いたします。本当にありがとうございました。



高専生活を振り返って

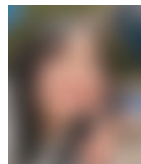
物質工学専攻（物質工学科出身）

中野 悠

ついに7年間の高専生活が幕を閉じます。振り返れば、高専生らしい生活を実感できたのは4年生の後半からでした。4年生前半まではアルバイトや部活に没頭し、勉強や研究活動にはあまり興味を持てずにいました。しかし、研究室配属が決まったときに自分の将来を真剣に考え始め、卒業研究や受験勉強にしっかり向き合う必要性を強く意識するようになりました。そこから研究活動を進めるうちに、未知の結果を解明していく面白さを感じ、ようやく高専生としての実感を得られたと思います。同時に、部活を通じて身につけた仲間との連携や忍耐力は、研究にも大いに活かすことができました。研究内容について先生や仲間と議論を重ねながら問題を解決していくことは、大きなやりがいでもありました。気がつけば、あっという間に7年が過ぎましたが、いつか振り返ったときに、この4年生からの3年間の研究活動こそが自分の成長を支える土台になっていると確信しています。これまでの高専



生活で培った創造力や忍耐力は、今後の人生にも必ず役立つと感じています。大きな目標などなく入学した高専でしたが、終わってみるとかけがえのない時間になりました。



7年前の中学生の自分へ

環境都市工学専攻（環境都市工学科出身）

阿部 美里

7年間一緒にいた友達って“人生”の親友じゃない？最近そんなことに気がつきました。

中学生の頃の自分は真剣に取り組める「何か」が欲しくて、そして「何か」を一生懸命同じくらい頑張ってくれる仲間が欲しくて…ずっと「何か」を探していました。

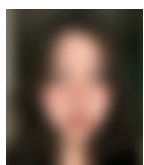
ドキドキしながらバスに揺られ、高専坂を登ったあの時からもう7年が経とうとしています。その間、学生会、部活、海外派遣研修、プレラボ、コンテストなど高専のほぼ全ての取り組みに手をだしました。普通の高校・大学生活とは全く違う人生でしたが、一言で表せないほど、本当に楽しい7年間でした。研究活動では、私のことをよく理解してくださる井林先生の下で毎日研究をし、様々な学会に参加できたことは、とても有意義な経験であり、何物にも代え難い貴重な時間でした。

7年前の中学生の自分に伝えるなら、「高専は自分が考えたことを形にでき、夢物語でも笑わないで真剣に応援・協力してくれる先生、仲間がたくさんいたよ」って伝えたいです。プレラボ制度を使い、コンテストに参加したりなど、座学では得られない挑戦が沢山できました。学科学年年齢を超えたここでしか得られない、抱えきれないほどの素晴らしい出会いが沢山ありました。また、挑戦を重ねるごとに沢山の知識を得て、沢山の大切な経験をさせてもらいました。こんなに真剣に一緒に一つのことを取り組んでくれる仲間や先生がいたことに本当に驚き、感動しました。

中学生の頃に探していた「何か」はここにあり、私にとって素晴らしい、誰にも負けないキラキラした学生生活だったと思います。

私に関わってくれた全ての方々へ。本当にありがとうございました。





IL BALLO DELLA VITA

機械工学科／国籍：モンゴル

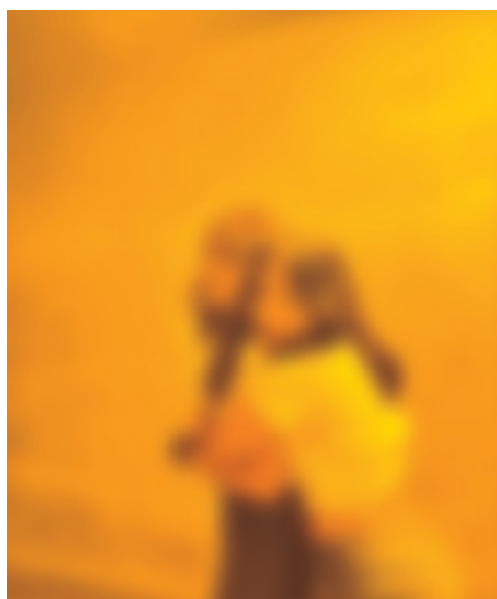
バトバヤル ムンヘジン



長岡に来た時、3年間はとても長い時間だと思っていましたが、振り返ってみるとあっという間でした。この3年間は、幸せやこどく、さまざまな出来事に満ちた充実した時間でした。長岡で出会ったすべての人々に感謝しています。その人々のおかげで、私は視野を広げ、生きることや物事を楽しむことを学ぶことができました。精神的にも学問的にも大きく成長できたと感じています。

また、自分を愛し、大切にする方法も学びました。困難な時期を乗り越える手助けをしてくださった工藤先生、そしてサポートしてくれたすべての方々に心から感謝しています。色々な国の友達を作る機会をくれた学校にも感謝しています。長岡の自然も本当に好きで、部屋から見える美しい森を眺めることができたのは、私の中で特別な思い出です。そして、学校への途中で桜を見ることができたのも必要な思い出です。

これからの新しい挑戦に向けて、ここでの経験を大切にしていきたいと思います。ありがとうございました。



輝く瞬間

電気電子システム工学科／国籍：タイ

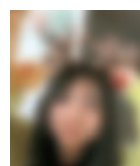
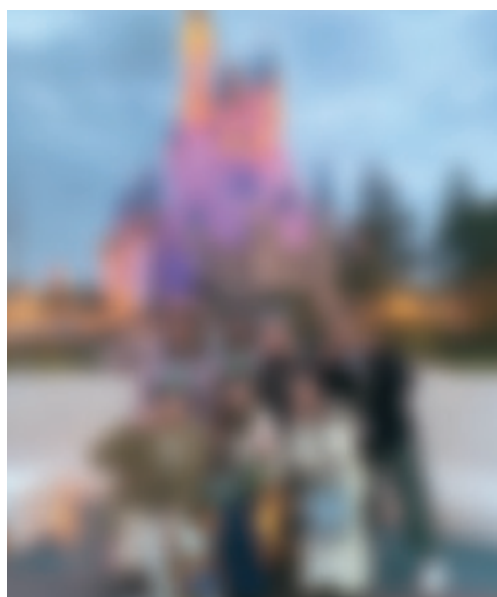
ステイニー ワッチャラルートワーニット (プレーン)



人の一生には、それぞれが自分だけの輝く瞬間が必ず訪れると信じています。私にとって、その瞬間はここで過ごした5年間です。日本に来る前の私は、やりたいことをやらず、やるべきことだけをやる人でした。しかし、日本に来てからは、たくさんの機会に恵まれて、課外活動や研究、旅行など、やりたいことに挑戦する勇氣

を持つようになりました。それはきっと、うまく日本語が話せない私の言葉をいつも真剣に聞いてくれた友達、様々な課外活動を企画してくれた地球ラボやインターアクトクラブの先生方、いつも気にかけてくれる先生方、笑顔で助け合う留学生の皆、そして、優しい長岡市の皆さんのおかげです。

私はあと2年ここにいますが、皆さんと一緒に作ったこの5年間の思い出を大切にしていきます。最後に、輝く瞬間は短いかもしれませんが、その瞬間を何度でも訪れるようにするために、自分の信じる道を進むことを楽しんでください。私は応援しています。5年間、本当にありがとうございました！



日々の小さなこと

電子制御工学科／国籍：タイ

コンチャノック ワットイエーム (チェルシー)

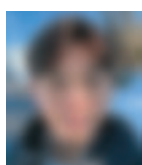
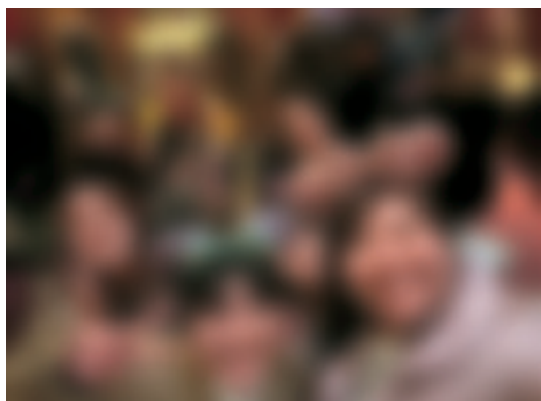


私は人と話すのが得意ではありませんが、ここで出会った皆さんはとても優しく、温かく迎えてくれました。その優しさには本当に感謝しています。この3年間、日々の生活の中で、小さなことに幸せを感じ、周りの物事をもっと大切に思えるようになりました。

いつもサポートしてくれたり指導してくれたりした先生方、優しさをもって助け合ってくれた友達や先輩、後輩に心から感謝しています。笑顔で話しかけてくれた瞬間や温かい言葉をかけてくれたときなどの小さな優しさが、私の心に残っています。これらの経験は、いつも他の人にも優しくしようと考えてくれました。

素晴らしい人たちに出会い、素敵な友達もできました。困難な時も、いつも私を応援し、信じてくれた皆さんのおかげで、ここに来て良かったと深く感じています。私もそんな優しい人でいられるように努力したいと思います。

3年間は私たちの人生の中ではほんの一部かもしれませんが、全ての出来事に感謝したいと思います。一緒に楽しい思い出を作ってくれてありがとうございます！



Memories Pro Max

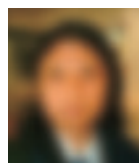
電子制御工学科／国籍：タイ

タンヤプーム テーチャロムスックディー (フランク)

私は3年生の時に長岡高専に編入してきました。生活面では特に心配することなく、楽しく過ごすことができました。なかでも初めて雪を経験できたことは特別な思い出となりました。

一方、日本語で授業を受けるのは初めてで、全く分からず困ることが多かったです。実験レポートや試験、授業の予習・復習など、たくさんのタスクに追われ正直苦しかったです。それでもここまで頑張ることができたのは、丁寧に教えてくれたチューター、手を差し伸べてくれた先生方、一緒に励まし合ってくれた仲間たち、遠くから応援してくれた家族らの支えがあったからです。皆さんには心から感謝しています！ ʘ(<) ʘ

振り返れば、これまでの一日一日が私を成長させ、これからの人生への準備になっていると感じます。皆さんと過ごした日々は私の中で永遠に輝く宝物です。この経験と思い出を胸に、これからも挑戦し続けます。皆さんの未来が素晴らしいものになることを心から祈っています。本当にありがとうございました！ ʘ(▽) ʘ



忘れられない旅

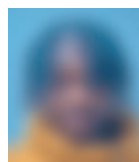
電子制御工学科／国籍：マレーシア

モハドイルファンラヒミビンモハドマルズキ (ラヒミ)

正直に言うと、留学する前は日本について知っているのは映画やソーシャルメディアの動画だけで、どんなところかまったく見当が付きませんでした。長岡に足を踏み入れて、人々の親切さ、街の清潔さ、美しい景観、そして長岡の人々の日常生活に最先端のテクノロジーが組み込まれていることなど、多くを知ることができました。

長岡高専では、多くのプログラムを通してチームワークや協調性を学びました。また、仕事における秩序の重要性を学びながら、より良い時間の管理方法を習得しました。先生方は親切で、学生は皆フレンドリーなので、私のような留学生も仲間の一員であるという感覚を抱くことができました。さらに、インターアクトクラブが実施する交流プログラムのおかげで、日本文化をより深く理解することができました。

最後に、この3年間、長岡高専で自分の足場を固めるのを助けてくれた友人や先生たちに感謝します。そして、私たちの人生の次の章が、今後さらに良くなることを願っています。



人生を変える冒険

環境都市工学科／国籍：コンゴ

ムブル・モイス・エソブル (エソ)

新しい環境での生活は、まさに私にとって「人生を変える冒険」でした。最初は授業の理解に苦労し、知り合いもおらず、孤独を感じることもありました。しかし、この冒険を通じて、私自身が大きく成長する機会を得ることができました。

友人たちは、勉強面でアドバイスをくれたり、一緒に遊んだりして、私の生活を支えてくれました。また、先生方も親身に相談に乗ってくださり、どんな状況でも支えてくださいました。このような温かい人々との出会いは、私が

困難を乗り越える原動力となりました。この場を借りて、支えてくださった全ての方々に心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。

異文化に触れる日本での生活は、私の視野を広げ、新たな価値観を学ぶ貴重な経験となりました。この冒険を通じて得た成長と学びは、今後の人生における大切な財産となるでしょう。これから冒険に挑む皆さんも、不安を恐れず、一步一步進んでください。努力を続けることで、きっと素晴らしい成果を得られるはずです。



最高の決断

環境都市工学科／国籍：タイ

スイリワーン メーターパッド (ジェームズ)

日本に初めて足を踏み入れたときの気持ちを、私は今でも鮮明に覚えています。幼い頃からの夢をついに叶えた瞬間だったから、これこそが人生で最も幸せな時だと思ったが、馴染みのない場所での生活、通じる言葉も分からない、そして人付き合いが苦手な自分の性格——それらが心を追い詰め、不安と恐怖だけが残っていました。しかし、それはこの学校での生活が本格的に始まるまでの話でした。私は多くの素晴らしい人々と出会い、親身になって見守ってくれる先生方、言葉が通じない私を理解しようとしてくれる優しいクラスメート、温かく迎え入れ

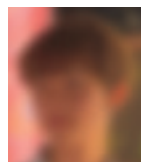


てくれた留学生たち、そして困難な時期を支えてくれた人達、彼らのおかげで、最初の不安や恐怖は消え去り、今では温かく幸せな記憶だけが心に残っています。この5年間、支えてくれた彼らに心から感謝しています。ここで過ごした日々と経験した出来事は、私にとってかけがえのない宝物です。この場所を選んだことが、人生で最高の決断だったと胸を張って言えます。

さよ—ならまたいつか！

専攻科／国籍：タイ

ナッタワット マンクラキリー



私は唯一の留学生として専攻科生活を始めた時、不安ばかりでした。しかし、その不安は杞憂に変わりました。他専攻の友達には私に対して非常にフレンドリーで、多くの専攻科活動を通じて素晴らしい交流を持つことができました。

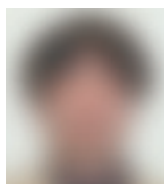
専攻科の授業は、他専攻の友達とのグループワークやディスカッション、プロジェクトが多く、コミュニケーション能力を大きく向上させることができました。「一人で見える夢はただの夢。みんなで見る夢は現実になる」という言葉のように、友達との協働を通じて多くのことを学びました。

研究活動は本科5年生の時よりも厳しく、発表会や学会などがあり、最初は戸惑いましたが、先生方や後輩たちのサポートのおかげで乗り越えることができました。また、先輩として後輩に教える立場になり、人として大きく成長できたことを実感しています。

それに、インターアクトクラブでの活動は、私の視野を大きく広げてくれました。日本人学生や他の留学生との交流、新潟への旅行、他の大学生との交流など、学校の外での活動を通じて貴重な経験を積むことができました。スキー旅行やゲーム大会など、一つ一つの小さな思い出が私の宝物となっています。

高専での思い出と経験を胸に、新たな挑戦へと進んでいきたいと思います。6年間に支えてくださった全ての方々に心から感謝申し上げます。長岡高専、ありがとうございました！





感謝

一般教育科

佐藤 秀一

この春で一区切りをつけることになりました。

平成3年度より一般教育科・電子制御工学科併任として勤めはじめ、数年後には電子制御工学科専任となり、平成22年度からは一般教育科・物理教員として勤めました。この34年間、多くの教職員の皆様にお世話になりました。感謝を申し上げます。

電子制御工学科在任中は、おもに物理系の授業科目を担当しつつ、学生実験や卒業研究も担当しました。特に卒業研究では学生諸君とじっくりと向き合うことができ、毎年良い時間を過ごせたと思っています。卒業研究発表会前の準備などはかなりハードでしたが、それを終えた後の学生

諸君の充実した顔を見ることが毎年のちょっとした喜びでした。工学出身でない私が何とかやれたのは、私を受け入れてサポートしてくださった電子制御工学科の諸先生方のおかげと感じています。

一般教育科に異動してからは物理系科目の授業を担当しつつ、低学年のクラス担任を度々担当することとなり、本校に入学してくる多様な学生と向き合う機会が以前よりも増えました。本校の自由な雰囲気の中、勉強や部活等で楽しく過ごす学生が多い一方、何らかの事情で学校に来なくなる学生もあり、その対処の仕方は当然一律ではなく、いろいろと考えさせられました。その都度助言をくださった教職員の方々には感謝を申し上げます。

新年度から嘱託教員として2～5年および専攻科の物理系科目の授業を担当します。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



ありがとう長岡高専

物質工学科

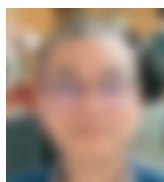
菅原 正義

いよいよ私の番ですね。教職員、学生さん、保護者の皆様のおかげを持ちまして、大過なく勤め上げられました。この場をお借りして感謝と御礼申し上げます。私は大学卒業後、日本食品化工（株）という企業に9年間勤務しました。この間、トウモロコシ食物繊維の生理機能評価のため千葉大学に2年間、腸内環境への影響評価のため理化学研究所に3年間出向していました。会社に戻り食物繊維製造プラントの設計、建設、立ち上げなど技術者として他では得がたい経験を積むことができました。

縁あって長岡高専工業化学科に助教として着任し、難

消化性糖類の腸内環境に及ぼす影響をテーマに10年間研究を行いました。この頃、腸内細菌研究の手法が培養法から分子生物学的手法に変化し限界を感じていた際に中越地震に被災し、それまで収集してきた微生物の菌株を失いました。ここでテーマをコメの加工による生理的機能性の向上に変更して「体に良いコメ」の開発を15年間目指しました。幸運にも農水省の平成30年度革新的技術開発・緊急展開事業に採択され実施しましたが、私の実力以上の大プロジェクトで大きなストレスを受けました。

その時、くも膜下出血に倒れましたが開頭手術を経て生き延びました。幸運に大きな後遺症もなく現在に至っておりますが、この8年間はグダグダで大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。やはり、健康が一番です。皆様もご自愛なさって、今後も益々のご活躍をお祈り申し上げます。



Live, Love, Laugh, and Be happy!

電子制御工学科

梅田 幹雄

2001年に本校に赴任し早や24年が過ぎ去り、このたび定年を迎えることとなりました。年寄り「昔話、自慢話、説教話はするな」と言われますが、ネタがないので少しだけお付き合いください。

赴任当初は自分のやりたいことを追いかけて自分なりに頑張ってきたつもりだったのですが、中越地震のあった年に運転中の車が全損となる交通事故に遭ってしまい、その後遺症で長年心身ともに苦しみました。そのこともあり、あまり皆様のお役に立てず、大変ご迷惑をおかけいたしました。

そんな中、自分の研究で発案したものが商品化された

り、考案した測定方法が世界基準に採用されたりと、おかげさまでそれなりの成果を得ることが出来ました。また何人かの教え子が母校や他校の教員となって活躍してくれており、とても嬉しく思っています。

今思えば、時代に合ったスキルを磨くことができたこと、中越地震やコロナ禍など様々な変化に対し柔軟に対応できたことなどが、今まで教員としてやってこられた大きな要因のような気がします。

これからセカンドライフとなりますが、引き続き健康に留意しながら一生懸命生きて(live)、自分と周りの人を愛して(Love)、周りの人と笑い合って(Laugh)、そして毎日小さな幸せを感じながら過ごせたらいいなと思っています(Be happy!)

これまでお世話になった皆様、いろいろとありがとうございました。心より感謝申し上げます。

1年を振り返って

新科目「キャリアデザインⅠ」を開設

教務主事 外山 茂浩

キャリア教育を充実させるために、今年度第1学年からの教育課程において、新科目「キャリアデザインⅠ」が開設されました。来年度から第2学年に開設される「キャリアデザインⅡ」や高学年の工場見学、インターンシップ等へとつながる一連のキャリア教育体系の最初の一步と位置付けられる科目となります。「キャリアデザインⅠ」は、専門学科教員と一般教育科教員がチームを組んで担当する必修科目であり、3つの到達目標が設定されています。1つ目の到達目標は、高専と社会の繋がりに関心を持ち、ありたい未来の姿を実現するためのキャリアパスを描くことができることです。2つ目の到達目標は、長岡高専の特色を知り、高専での学びを充実させるための能力を身に付けることです。そして、3つ目の到達目標は、高専教育において修得すべき基盤的資質・能力、創造性・デザイン能力を身

に付けることです。それらの到達目標を達成するために、授業においては、学生が自分自身のライフプランを設計し、進学・就職活動等で必要となるビジネスリテラシーやメンタルコントロール法を学びました。また、グループワークの方法を学び、チームで協働するためのスキルや、実践で使える知識・技術を習得しました。写真は、授業中にグループでディスカッションを行っている学生たちの姿を捉えたものです。活発な意見交換が行われる中で、学生たちは自らのキャリアビジョンをさらに明確化し、成長していく様子が伺えました。



グループディスカッション「自己理解を深めよう
(PROGテスト結果と目標設定)」

多様な分野での本校学生の活躍について

学生主事 新井 好司

今年度の学生会行事については、4月の新入生歓迎会、5月の交千祭、11月の高志祭、12月のクラスマッチなどが行われました。交千祭では通常の体育祭で行われるような競技の他に室内でゲームやe-スポーツが行われるなど、高専らしい行事で、多くの学生が各ゲームに熱中しました。また、今年



11月高志祭

の学園祭は3年に一度行われる3日間の「高志祭」でした。長岡高専恒例の各学科対抗の演劇の他にも多くの企画が行われ、3日間で三千人以上の来校者があり、最終日には花火が打ち上げられ盛大なものとなりました。

課外活動においても、今年は六つの部が全国高専体育大会に出場し、部活動以外でも多くの学生が多様な分野で活躍をしている事は学校のホームページなどでも紹介されているとおりです。

長岡高専の大きな特徴の一つとして学生達のめざましい活躍があげられますが、上記の様な活躍だけではなく、最近では学生が登下校時などに学外で人助けを行い、感謝の連絡が学校に届くことが続いています。学業や課外活動以外でも困っている人を見過ごすことなく手を差し伸べる事ができる学生が多い事は長岡高専の誇りです。

来年度以降も引き続き、様々な分野で多くの学生の活躍が見られることを期待したいと思います。

令和6年度を振り返って

寮務主事 小川 秀

寮生活では心身の健康を第一として落ち着いて学業に励めることが重要です。そこで学生寮では関係教職員は寮友会の役員とともに寮生の生活環境の改善を進めています。今年度は寮食堂前のスペースの整備を行い、広く寮生が使用可能なプリンターや食品紛失を防ぐ共用冷蔵庫を新設しました。また以下のような生活、学習を支える仕組み作りにも取り組みました。

・欠席の多い学生への指導と支援

自己管理が求められる寮生活ですが、いつの間にか授業欠席が累積してしまうケースもあります。欠席が多い寮生をより早期に把握するため、前期及び後期中間時点で一定時間以上の欠席時数をもつ1～3学年の寮生と面談し欠席理由やその背景を学級担任や関係教職員と共有しながら対応しています。

・寮則違反累積点の減免制度

寮では生活上の規則、寮則に違反すると内容に応じて違

反点がつき、これが15点以上となると退寮勧告となります。在寮期間中累積する寮則違反点に対し、今年度からは年度内無違反で生活し、年度末の奉仕活動に参加することで、5点分減らせる制度を導入しました。今年度末に20名余の対象者が奉仕活動に励みました。一層寮則を意識した生活を心がけて欲しいです。

・グループ学習支援

悠和寮ラーニングスペースで毎週火曜日夜に上級生が1年寮生に「数学」を教える活動を24回実施し、累計383名の1年寮生が参加しました。上級生や仲間と共に楽しい学びができたでしょうか。

依然として日々の生活上最も重要な安否確認（点呼）ではミスが目立ちます。帰省時には外泊届の提出を忘れない！



学生寮グループ学習支援

卒業生・修了生表彰 進路状況

卒業生・修了生表彰

■ 長岡高専の学則に定める賞

特別表彰

電子機械システム工学専攻	北村	清史
電子機械システム工学専攻	小林	陸駿
環境都市工学専攻	高橋	一平
電子制御工学科	梅沢	暁平

功労賞

物質工学科	阿部	琉星
物質工学科	岩月	るり
電気電子システム工学専攻	五十嵐	幸多
電気電子システム工学専攻	池田	悠希
電気電子システム工学専攻	石川	颯汰
電気電子システム工学専攻	小林	由佳

精励賞

電気電子システム工学専攻	中和	優太
--------------	----	----

皆勤賞

機械工学科	東	尚輝
電子制御工学科	稲田	絢斗
電子制御工学科	佐藤	涼亮
電子制御工学科	中野	恵伸
環境都市工学科	伊平	圭汰

■ 各種学会賞等

日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部令和6年度連合講演会 学生優秀発表賞	電子機械システム工学専攻	北村	清史
電子情報通信学会信越支部 学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	入倉	愛梨
電子情報通信学会信越支部 学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	小林	陸駿
日本分析化学会関東支部 令和6年度第37回新潟地区部会研究発表会 ポスター優秀発表賞	物質工学専攻	櫻井	凜
日本機械学会 畠山賞	機械工学科	阿部	泰輝
第14回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム 優秀ポスター発表賞	電気電子システム工学専攻	小口	貴士
IEEE Shin-etsu Section Young Researcher Paper Award	電子制御工学科	コンチャノック	ワットイェーム
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学科	小林	希安
9 th International Conference of "Science of Technology Innovation" 2024 (9 th STI-Gigaku 2024 Conference) Best Research Presentation Award by Sumitomo Riko Company Limited (住友理工賞)	物質工学科	田村	脩
全国高専土木工学会 近藤賞	環境都市工学科	鈴木	紗世

■ 同窓会長賞

バスケットボール部

電子制御工学科	酒井	朝陽
電気電子システム工学専攻	稲井	万将

陸上競技部

物質工学科	小山	大和
-------	----	----

水泳部

機械工学科	須波	佑之
-------	----	----

卓球部

物質工学科	市川	遥斗
-------	----	----

ロボティクス部

電気電子システム工学専攻	五十嵐	幸多
--------------	-----	----

電気電子システム工学専攻	池田	悠希
電気電子システム工学専攻	石川	颯汰
電気電子システム工学専攻	小林	由佳
電子制御工学科	梅沢	暁平

プレラボ「はしおし」

環境都市工学専攻	阿部	美里
電子機械システム工学専攻	入倉	愛梨

進路状況

学科

学 科	区 分	卒業者数	進学者数	就職者数			研究生等
				県 内	県 外		
機械工学科		40	27	9	1	8	4
電気電子システム工学専攻		36	19	17	2	15	0
電子制御工学科		39	33	4	1	3	2
物質工学科		35	26	8	3	5	1
環境都市工学科		39	22	17	8	9	0
計		189	127	55	15	40	7

専攻科

専 攻	修了者数	進学者数	就職者数			研究生等
			県 内	県 外		
電子機械システム工学専攻	13	2	10	2	8	1
物質工学専攻	8	4	4	2	2	0
環境都市工学専攻	7	1	6	1	5	0
計	28	7	20	5	15	1

高志台さくら基金の お知らせ

長岡高専の学生の教育研究に関する活動の支援を行います。皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

- 学生への支援内容 教育研究活動、奨学金の給付、課外活動、就職活動、海外研修、国際交流、社会貢献活動、学習環境整備 など
- 令和6年度受入実績 **30件 10,744,480円** (R7.3.1現在)
- 税法上の優遇措置 個人の方は所得税・住民税控除が受けられます。法人の方は全額損金に算入できます。

【基金ホームページ】 <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/sakura-fund/>
【お問い合わせ先】 長岡工業高等専門学校総務課総務・企画係
T E L : 0258-34-9311
E-mail : kikin@nagaoka-ct.ac.jp



ホームページQRコード